

様式第1号

令和3年6月30日

愛知県知事 大村 秀章 殿

名古屋市中村区黄金通1丁目16番地
学校法人敬道学園
理事長 牧野 健介

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	専門学校日本マンガ芸術学院
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u>)
大学等の所在地	名古屋市中村区黄金通1丁目16番地
学長又は校長の氏名	校長 成 光雄
設置者の名称	学校法人敬道学園
設置者の主たる事務所の所在地	名古屋市中村区黄金通1丁目16番地
設置者の代表者の氏名	理事長 牧野 健介
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/

※ 以下のいずれかの□にレ点(☑)を付けて下さい。

確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第1項に基づき確認申請書を提出します。

更新確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第3項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実と相違ありません。

確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	学務課 大本周平	052-483-2661	omoto@keido.jp
第2号の1	学務課 大本周平	052-483-2661	omoto@keido.jp
第2号の2	学務課 大本周平	052-483-2661	omoto@keido.jp
第2号の3	学務課 大本周平	052-483-2661	omoto@keido.jp
第2号の4	学務課 大本周平	052-483-2661	omoto@keido.jp

○添付書類

- ※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点(☑)を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「1 実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「2 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類)経営要件を満たすことを示す資料

学校名	専門学校日本マンガ芸術学院
設置者名	牧野 健介

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	391,255,184円	350,776,253円	40,478,931円
申請2年度前の決算	292,574,223円	316,657,786円	△24,083,563円
申請3年度前の決算	300,567,988円	294,999,174円	5,568,814円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	324,212,104円	108,244,607円	215,967,497円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	250人	132人	53%
前年度	250人	133人	53%
前々年度	400人	116人	29%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
現金及び預金	学生納付金等収入	324,212,104円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
長期借入金	銀行借入金額	45,300,000円
一年以内返済長期借入金	銀行借入金額	28,560,000円
短期借入金	銀行借入金額	0円
未払金	支払予定金額	34,384,607円

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校日本マンガ芸術学院
設置者名	学校法人敬道学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養 専門課程	メディアアート学科 (2年制)	昼間部	2028単位時間 以上(2年制)	160単位時間(2年制)	
	メディアアート学科(3 年制)	昼間部	2730時間以上 (3年制)	240単位時間(3年制)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」にて掲載
<https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校日本マンガ芸術学院
設置者名	学校法人敬道学園

1. 理事(役員)名簿の公表方法

学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」にて掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人職員	2020.12.14～ 2024.12.13	学校運営に関する 助言と提案
非常勤	学校法人職員	2020.12.14～ 2024.12.13	学校運営に関する 助言と提案
(備考)他1名学外者の理事選任あり			

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	専門学校日本マンガ芸術学院
-----------	---------------

設置者名	学校法人敬道学園
------	----------

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)	
○授業計画の作成過程 学科およびコースに関する教務職員による授業計画会議を経て、期末や年度末に実施される講師会議での意見、要望を検討または反映して担当教務職員により、コースや分野別立案される。 年間授業計画は教務課長および校長の承認を受けて決定される。	
○授業計画の作成・公表時期 次年度の年間授業計画(素案)は年度末までに作成される。前期カリキュラム(時間割)と年間予定は3月に決定され、在学生には4月初旬の学年オリエンテーションにて公表される。後期カリキュラムは9月に決定、在学生へ公表される。一般への情報公開は5月から6月にかけて学院Webサイトにて情報公開(更新)される。	
授業計画の公表方法	学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」にて掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
○科目別の成績評価 各科目の課題に対して期限までに提出して審査、採点を受ける、もしくは指定日時において実技試験を実施する。必要とされるあらゆる技術要素を総合的に判断して採点し、原則として60点以上を合格点とする。	
○採点と算出 科目別の担当講師が課題(もしくは実技試験)を審査して採点。修学の成果を考慮して上記の総合点を算出する。	
○追試および補習 科目別に合格点を獲得できなかった場合、もしくは必要最低授業時間数以上の出席を果たせなかった場合は追試および補習を受けなければならない。 補習、再試験、追試課題を課すことで単位を補い、最低合格点(60点)を獲得することがある。ただし、著しい成績不良や出席不足の場合はこの限りではない。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○採点基準</p> <p>A:優:80～100点</p> <p>B:良:70～79点</p> <p>C:可:60～69点</p> <p>D:不可:59点以下</p> <p>○科目別成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業課題の採点とその平均点 ・試験科目課題の採点 ・期末試験 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」にて掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>進級試験、卒業試験、卒業認定基準をクリアすることで本学院を卒業することができる。各試験や認定基準の詳細は、本学院の学則および教育規定を参照。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」にて掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校日本マンガ芸術学院
設置者名	学校法人敬道学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
収支計算書又は損益計算書	学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
財産目録	学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
事業報告書	学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
監事による監査報告(書)	学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	メディアアート学科(2年制)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間部		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700単位時間以上	344時間	261時間	1285時間	0時間	0時間
			1890単位時間(コース選択などで違い有り)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		95人	4人	8人	22人	30人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)1学年の学期区分は前期(4月～9月)・後期(10月～3月)制。カリキュラムは主に時間割授業、選択授業、特別授業、研修授業で構成される。
成績評価の基準・方法
(概要)科目授業での課題採点と期末審査(進級・卒業認定試験含む)などによる成績評価。59点以下は不可。再試験もしくは補講補習対象。
卒業・進級の認定基準
(概要)学年毎に必修科目・選択必修科目を履修し、必要な単位(授業時間数)以上を取得。進級・卒業認定試験に合格すること。
学修支援等

(概要) インターンシップ(選択希望制)、産学協同企画(選択希望制)、国内研修、海外研修

卒業生数、進学者数、就職者数(2020年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
42人 (100%)	0人 (0%)	28人 (66.7%)	14人 (33.3%)
(主な就職、業界等) デザイン、印刷、作家、イラストレーター、漫画家、アシスタント、一般就職(兼業作家)			
(就職指導内容) アンケート調査、進路指導、ポートフォリオ制作指導、学院内企業説明会など。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門士。公募などの受賞(賞金獲得)。文章検定など。			
(備考)			

中途退学の現状(2020年度の状況を記載)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104人	12人	11.5%
(中途退学の主な理由) 経済的事由(学費)、病気(心身)、学院生活不適應、成績不振など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学院奨学金、学費相談、カウンセリングなど		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化教養専門課程	メディアアート学科(3年制)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間部	2400単位時間 以上	412時 間	370時 間	1998時 間	0時間	0時間
			2780単位時間(コース選択などで違い有り)				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	37人	2人	8人	22人	30人		
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)							

(概要)1学年の学期区分は前期(4月～9月)・後期(10月～3月)制。カリキュラムは主に時間割授業、選択授業、特別授業、研修授業で構成される。
成績評価の基準・方法 (概要)科目授業での課題採点と期末審査(進級・卒業認定試験含む)などによる成績評価。59点以下は不可。再試験もしくは補講補習対象。
卒業・進級の認定基準 (概要)学年毎に必修科目・選択必修科目を履修し、必要な単位(授業時間数)以上を取得。進級・卒業認定試験に合格すること。
学修支援等 (概要)インターンシップ(選択希望制)、産学協同企画(選択希望制)、国内研修、海外研修

卒業生数、進学者数、就職者数(2020年度の状況を記載)※卒業生はまだいません			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) デザイン、印刷、作家、イラストレーター、漫画家、アシスタント、一般就職(兼業作家)			
(就職指導内容) アンケート調査、進路指導、ポートフォリオ製作指導、学院内企業説明会など。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門士。公募などの受賞(賞金獲得)。			
(備考)			

中途退学の現状(2020年度の状況を記載)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	3人	10.3%
(中途退学の主な理由) 経済的事由(学費)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学院奨学金、学費相談、カウンセリングなど		

- ②学校単位の情報
a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
メディアアート学科 2年制	250,000円	800,000円	100,000円	
メディアアート学科 3年制	250,000円	640,000円	100,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
本校は、常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめとする教育活動や教育環境、学校運営の状況について、自己点検・評価はもとより、企業等、学校関係者等が評価に参画する学校関係者評価委員会(年1回)を設置して客観的な点検及び評価を行い、教育体制の強化を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社クイントエッセンシャル	2021.4.1～2022.3.31	デザイン会社 アートディレクター
愛知芸術高等専修学校	2021.4.1～2022.3.31	高等専修学校 教務主幹
I.C.NAGOYA	2021.4.1～2022.3.31	日本語学校 校長
株式会社 寺	2021.4.1～2022.3.31	デザイン会社 グラフィックデザイナー
株式会社JSコーポレーション	2021.4.1～2022.3.31	広告代理店 支社長
学校関係者評価結果の公表方法		
学校法人敬道学園公式Webサイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

HPにて掲載

<https://www.ndanma.ac.jp/nma/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名

専門学校日本マンガ芸術学院

設置者名	学校法人敬道学園
------	----------

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		17人	14人	17人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				17人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期

修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	-人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	-人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	-人
計	0人	0人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことによ

り認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	-人	0人
計	-人	-人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。